

三浦市議会だより

第1回定例会

平成二十八年度予算成立

社会福祉事業等に関する特別委員会を設置



市内8小学校に282人が入学しました(上宮田小学校)

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容		
3月1日	火	本会議	会期の決定、施政方針		
2日	水	本会議	一般質問		
3日	木	本会議	一般質問		
4日	金	本会議	議事日程に入らず		
7日	月	本会議	議事日程に入らず		
8日	火	本会議	議事日程に入らず		
9日	水	本会議	一般質問、議案の審議(説明・質疑・委員会付託)、予算審査特別委員会の設置、社会福祉事業等に関する特別委員会の設置		
10日	木	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査		
11日	金	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査		
14日	月	予算審査特別委員会	議案の審査		
15日	火				
16日	水				
17日	木	本会議	議案の審議(説明・委員会付託)		
18日	金			予算審査特別委員会	議案の審査
				総務経済常任委員会	議案の審査
23日	水	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生・予算審査の各委員長報告・討論・採決)、意見書案、人事案件(固定資産評価審査委員会委員)、閉会中継続審査申し出、報告		

平成二十八年度第一回定例会は、三月一日から二十三日間を会期として開かれ、平成二十八年度予算や国民健康保険条例の改正など三十四議案を審議しました。会期中には社会福祉事業等に関する特別委員会を設置し、また、最終日には意見書一件を可決し、関係機関に送付しました。

〈議会だより第124号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
予算審査特別委員会	1～2面
常任委員会	2～3面
陳情の審査	3面
一般質問	3～6面
可決した意見書	6面
本会議における討論	7面
社会福祉事業等に関する特別委員会	7面
会議録の閲覧について	7面
人事	8面
次回定例会の予定	8面
議案等の審議結果	8面

予算審査特別委員会 議案の審査概要

平成二十八年度の一般会計、特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、市場、公共下水道、第三セクター等改革推進債償還)及び企業会計(病院、水道)の予算議案は、八人の委員で構成する予算審査特別委員会に付託され、五日間にわたり審査されました。

予算審査特別委員会

委員長 出口眞琴
 副委員長 小林直樹
 委員 下田剛
 石橋むつみ
 長島満理子
 神田眞弓
 出口正雄
 藤田昇

総括質疑 市政全般にわたり 市長に質疑

重点施策は

【質問】 二十八年度予算編成において市長が重点を置いた施策は何か。

【答弁】 厳しい財政の中、部門ごとに精査して必要な予算を確保したが、その中で、小児医療費助成の対象年齢引き上げについての予算は必ず確保するよう指示を出している。

歳入増加の取り組み

【質問】 歳入増加策として掲げている市税や税外債権の徴収については、どのように取り組むのか。

【答弁】 「滞納は許さない!」という基本姿勢のもと、さらなる強化をする考えであり、差し押さえや公売など、法的な手段にも積極的に取り組むたい。

【質問】 人口減少対策としての子育て支援策について市長の考えをお聞きしたい。

【答弁】 子育て支援にかかわる施策は他の自治体に劣後しないよう講じてきており、これから子育て賃貸住宅の検討も進めたい。

新しい総合計画や総合戦略の中にも位置づけているので、市として取り組みを強化したい。

(その他の質疑項目)
 ・教育にかかわる予算の位置づけについて
 ・ごみダイエット大作戦のアピール方法について
 ・市民活動促進ポイント制度の来年度の取り組みについて

一般会計

歳入

- ・市税収入が減少している要因について
- ・収納率向上のための取り組みについて
- ・三崎高校跡地及び旧三崎中学校に係る財産貸し付け収入について

歳出

- 総務費
 - ・(仮称)市民交流拠点整備事業の進行管理と諸手続について
 - ・市の職員定数と実員数の差について
- 民生費
 - 意見 小児医療費の助成対象の拡大を県に要請してほしい。対象年齢の引き上げは毎年継続して行ってもらいたい。
- 衛生費
 - ・ごみ処理業務の民間委託化の検討について
 - ・妊婦健診費用の助成について
- 農林水産業費
 - ・浜の活力再生プランの取り組みについて
 - ・有害鳥獣対策の拡充について
- 商工費
 - ・創業・事業継承支援事業の内容について
 - ・教育旅行事業の今後の展開について
- 土木費
 - ・通学路の安全対策工事について
 - ・橋りょうの維持管理について

- 消防費
 - ・消防広域化に向けた資機材の整備について
 - ・消防団の組織変更について
- 教育費
 - ・就学援助制度の対象基準と交付額について
 - ・スクールカウンセラーの役割と配置について
- 公債費
 - ・今後の起債残高の見込みについて

特別会計

- 国民健康保険事業
 - 意見 二十八年度から国保税が改定され、市民負担が増加することから、本予算案に賛成できない。
- 後期高齢者医療事業
 - 意見 年齢で医療保険の差別をする後期高齢者医療制度自体に反対である。
- 介護保険事業
 - ・児童・生徒を対象とした介護学習の取り組みについて
- 地域密着型サービス事業者の公募について

- 意見 二十八年度に繰り入れる五億四千万円が一般会計であれば、さまざまな事業ができたと考えられる。

企業会計

病院事業

- ・公立病院特例債の完済について
- ・入院患者数の見込みに
- 水道事業
 - ・給水管布設替え等の整備に対する補助制度の創設について
 - ・水道部の移転に伴う予

常任委員会

議案の審査概要

総務経済

- 三浦市行政不服審査法施行条例
 - ・本案は、行政不服審査法の全部改正に伴い、必要な規定の整備等を行うものです。
- 三浦市職員の退職管理に関する条例
 - ・本案は、地方公務員法の一部改正に伴い、適正な退職管理に関して必要な事項を定めるものです。(質疑の主な項目)
 - ・本条例に違反があった場合の調査機関と罰則について
- 三浦市職員定数条例の一部を改正する条例
 - ・本案は、市立病院に係る職員定数を見直すものです。(質疑の主な項目)

- 算について
- ◆ 質疑終了後は、討論が行われました。

- 公立病院特例債の完済
- 入院患者数の見込み
- 水道事業
 - ・給水管布設替え等の整備に対する補助制度の創設について
 - ・水道部の移転に伴う予

- 長島満理子委員長より、限られた財源の中で子育て施策の充実に努めたこと等が賛成の理由として述べられました。
- 小林直樹副委員長より、市職員の定年退職者不補充が弊害を生んでおり、適切な職員採用等が求め

- 小林直樹副委員長より、この会計は土地開発公社解散の尻拭いをするものであること等が反対の理由として述べられました。

- 一般会計
 - 小林直樹副委員長より、市職員の定年退職者不補充が弊害を生んでおり、適切な職員採用等が求め

- 小林直樹副委員長より、市職員の定年退職者不補充が弊害を生んでおり、適切な職員採用等が求め

- 小林直樹副委員長より、市職員の定年退職者不補充が弊害を生んでおり、適切な職員採用等が求め

- 小林直樹副委員長より、市職員の定年退職者不補充が弊害を生んでおり、適切な職員採用等が求め

- ・市立病院における職員確保策について
- 三浦市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例

- 意見 農業委員の公選制廃止は農業者の自治を大きく後退させるものであり、この法改正に伴う本案には賛成できない。

- 三浦市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

- 意見 農業委員の公選制廃止は農業者の自治を大きく後退させるものであり、この法改正に伴う本案には賛成できない。

- 三浦市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

- 意見 農業委員の公選制廃止は農業者の自治を大きく後退させるものであり、この法改正に伴う本案には賛成できない。

- 三浦市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

都市厚生

- 三浦市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例

- 三浦市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例

- 三浦市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例

- 三浦市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例

会計補正予算(第三号)

本補正は、歳入歳出それぞれ十二万六千円を追加するものです。

(質疑は特にありませんでした)

・金田中継センターに係る国からの交付金の支給割合について
◎平成二十七年三浦市水道事業会計補正予算(第三号)
本補正は、収益的収入の予定額について三万二千円を追加し、収益的支出の予定額について、千七百五十四万五千円を追加するものです。

◎平成二十七年三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第三号)
本補正は、歳入歳出それぞれ百一十八千円を追加するものです。

(質疑は特にありませんでした)

◎平成二十七年三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第二号)
本補正は、歳入歳出それぞれ八十五万四千円を追加するほか、繰越明許費の補正を行うものです。

(質疑の主な項目)
質疑終了後、議案第十二号について、布川照美委員より討論が行われ、保険税改定は厳しい生活の中で一億円の負担を強いるものであり、反対する旨が述べられました。

新たに提出された陳情

◎宇宙船地球号を守る為の陳情・地球社会建設決議陳情書
趣旨 本陳情は、軍事の放棄、すべての人間の人生を保障する人間社会を建設するため、戦争のない世界実現への基本原則である「地球社会建設決議」をすることを求めています。

◎国に対して消費税増税を中止する意見書の提出を求める陳情書
趣旨 五件の陳情は、いずれも平成二十九年四月施行予定の消費税率一〇%への引き上げについて、中止を求める意見書を国に提出することを求めています。

◎国に対して「消費税増税を中止する意見書」の提出を求める陳情書(同名四件)
趣旨 五件の陳情は、いずれも平成二十九年四月施行予定の消費税率一〇%への引き上げについて、中止を求める意見書を国に提出することを求めています。

常任委員会での陳情の審査結果

3月定例会では、新たに提出された陳情及び継続審査中の陳情、あわせて17件を審査しました。

今回、審査を終えた陳情は、次のとおりです。そのほかの15件は、引き続き審査を行っていきます。

所管委員会	件名	結果
総務経済	宇宙船地球号を守る為の陳情・地球社会建設決議陳情書	審議未了
都市厚生	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	了承できるもの

◎地震・津波に対する陳情書
趣旨 本陳情は、三浦市は三方を海に囲まれ、大規模地震が発生した際には市民の生命・財産が被害に遭うことが危惧されることから、行政が早急に地震・津波対策を図るよう働きかけることを求めています。

◎軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情
趣旨 本陳情は、重篤な症状を引き起こす可能性がある軽度外傷性脳損傷(脳しんとうなど)について、教育現場や家庭での正確な認識と理解が進むよう、対応を要請する意見書を国に提出することを求めています。

◎陳情書(入江埋立地内の道路整備について)
趣旨 本陳情は、入江埋立地内を横断する道路及び一番川渡橋の早急な整備を求めています。

新消防庁舎建設

空き家対策、水道事業
自由民主党 出口 正雄

【質問】新消防庁舎建設工事は、敷地面積や床面積が大きくなり、予算額が増加している。

【質問】災害時に必要な機能や資機材等を備えることが消防庁舎には求められる。

【質問】市の財政は厳しいが、国や県の財政支援を受けられる今、後悔のないよう検討してほしい。

【消防長】初声、南下浦方面へ迅速に出動することを目指す。消防車両の出入り口を二方向にしたため、庁舎位置の変更等が必要となり、敷地面積を広げている。また、建築面積と工事内容の変更に加えて、人件費と材料費の高騰により、建築工事費が増加している。

【質問】早期の対応を

【質問】市内では老朽化した空き家が多く見られるが、状態を確認してから空き家対策に関する条例制定に取り組んでいては時間がかかる。

【都市環境部長】二十八年度は、空き家の実態調査

【市長】昨年六月に神奈川県政策局の

一般質問
質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をただすことをいいます。
今定例会では、十二人の議員が市政運営について市側の考えをただしました。



三浦市消防本部

を踏まえて、所有者の特定や危険度の分類を行うほか、空き家等対策計画の骨子案を策定する。また、空き家バンクの設置に向けた検討も行う。

道路状況の把握

入浴施設、三浦を知る
無所属 下田 剛

質問 現在、市では道路パトロールを行い道路状況の把握をしているが、全ての道路を回るのには時間がかかる。

回答 ページの充実を検討しているので、まずは市民が情報を寄せやすい環境整備について検討したい。

漁船乗組員のために

質問 長い期間、洋上で過ごす船員が入港した際、最初に入りたいことは、お風呂に入ることだと聞く。

回答 現在、市内には銭湯も少なくなっているが、入浴施設の誘致など、環境整備をする考えはあるか。

経済部長 これまでも漁業関係者から入浴施設の

市長 お話のあったシステムは、位置情報や破損状況が確認でき、道路状

況の把握に有効であろうと判断している。

現在、市ホームページの

道路に関する

要望をいただいている。行政が整備することは難しいが、今後、民間の温泉施設などを誘致できればと考えている。

市民が楽しめる取り組み

質問 現在、市外の方に

三浦市のよさを知っていただくよう、さまざまなアプローチをしていますが、まずは市民が我が町のことを知らないければならない。

三浦市検定試験を実施し、受験者を観光大使に任命するなど、市民全体で楽しみながら観光振興につなげてはいかかがか。

三浦市検定試験を実施し、受験者を観光大使に任命するなど、市民全体で楽しみながら観光振興につなげてはいかかがか。

海の魅力の発信

経済振興、トライアルステイ
みうら市政会 長島 満理子
※は欄外に説明を記載

質問 東京オリンピックでは、江の島沖でセーリング競技が行われる。

市としても成功に向けて可能な限り協力していくと述べているが、同時に、世界に向けて豊かな海の魅力を発信する絶好の機会だと思ふ。市はどのような情報発信をしていく考へか。

経済部長 相模湾でセーリング競技が開催されることは、三浦市の魅力を国内外に発信するチャンスであると認識している。

二〇二〇年の開催に向けて、マリンスポーツ熱を高めたり、スポーツ以外でも家族で安心して楽しめる三浦の海の魅力をさらにアップさせる取り組みを進めながら、さまざまな媒体を活用して情報発信していきたい。

店舗改修への助成
質問 地域経済の振興を図るためには、飲食業や小売業を活性化していかなければならない。

本市では住宅リフォーム助成事業を行っているが、この対象範囲を店舗部分の改修まで拡大して

移住促進
質問 三浦市の魅力の発信、物件のマッチング、地域の人のつながりが移住につながる。と考へる。

市の魅力の発信、物件のマッチング、地域の人のつながりが移住につながる。と考へる。

市の魅力の発信、物件のマッチング、地域の人のつながりが移住につながる。と考へる。

市の魅力の発信、物件のマッチング、地域の人のつながりが移住につながる。と考へる。

市の魅力の発信、物件のマッチング、地域の人のつながりが移住につながる。と考へる。

市の魅力の発信、物件のマッチング、地域の人のつながりが移住につながる。と考へる。

市の魅力の発信、物件のマッチング、地域の人のつながりが移住につながる。と考へる。

市の魅力の発信、物件のマッチング、地域の人のつながりが移住につながる。と考へる。



海岸でのスポーツイベント



三浦を知る

図書館の充実と活用

国民健康保険、市立病院
日本共産党 石橋 むつみ

質問 図書館本館は市役所第二分館に移転し、広さと機能が拡充された。

図書館は、本の貸し出しのほかにも、調べたり情報を得るといふ市民のニーズに応えることや、資料の保存などの役割を担っている。移転を機に、サービスを充実し、市民へのアピールもしていきたい。

教育長 図書館は考える力を養う場、あるいは余暇を充実したものとする場として市民生活に必要な

持続可能な制度に

質問 国民健康保険は、他の医療保険に加入できない人々を支え、国民皆保険の体制を下支えする役割を果たしている。

国保制度を持続させるためには、厳しい財政状況も含めて市民に実態を明らかにするとともに、市民と行政が一緒になって国へ意見を言っていく

体制づくり
質問 市立病院におけるリハビリテーションの拡充は目覚ましいものがある。地域や院内でリハ

地方創生加速化交付金

インバウンドの推進
公明党 藤田 昇

質問 国は地方創生加速化交付金を創設し、雇用創出、新しい人の流れ、町の活性化など、目に見える地方創生の実現を図ることとしている。

三浦市で、この交付金を活用して取り組む事業についてお聞きする。

①「うらり」の二階部分に新設する「うらりマルシェ」は、どのようなイメージの施設になるのか。

②三崎漁港におけるグローバルブランディング

戦略に基づき展開すべき施策、輸出推進体制の三つの構成から成るものと考えている。

具体的な、どのようなものを考えているのか。

①マルシェというのは、フランス語で「市場」を意味する。

三浦市内のインバウンド受け入れ環境整備の一環として、この補助制度の活用を提案するが、市の考へは。

現在、この補助制度について、三浦市で活用できるメニュー

現在、この補助制度について、三浦市で活用できるメニュー

現在、この補助制度について、三浦市で活用できるメニュー



「うらり」



第2分館に移転した図書館

※トライアルステイ……お試し居住。市内の空き家を活用し、三浦市への移住を検討する方に短期間住んでもらうことで「定住のきっかけ作り」を行うもの

ふるさと納税

公共施設整備、子育て支援
無所属 寺田 一樹

三浦らしい体験をメニューに加えていくことは有効だと思おうので、検討したい。

では安全面を考慮した整備が必要だと思っている。広域化に向けて施設整備を進めている最終処分場や中継施設と同様に、計画的なスケジュールを立てて整備したい。

市長 他市の実施例等を参考に担当において検討を重ねており、早い時期に事業実施できることが望ましいと考えている。

グループホーム設置

観光振興、高齢者の就労
日本共産党 布川 照美

と認識している。今後、関係団体等からの意見もいただきながら、設置に向けた取り組みを検討したい。

にも引き続き要望を続け、早期の整備が実現するように取り組みたい。

保健福祉部長 三浦市シニアセンターでは、法改正に対応した事業を実施する能力はあるものの、現時点ですぐに行う予定はないと聞いている。市としては、三浦市シニアセンターと連携しながら、今後の動向を見守りたい。

市長 三浦市に多くの方にPRしていただくことを目標としている。ふるさと納税においても、三浦市に来てもらえるような返礼品を多数用意することが必要だと思いが、どのように考えているか。

市長 三浦市の記念品は、三浦ブランドのマグロや野菜が中心だが、体験型の記念品として小網代湾のクルーズや食事券等を用意している。

二町谷への企業誘致

三高校舎解体、水道管更新
みうら市政会 出口 眞琴
※は欄外に説明を記載

組んでいる。また、経済の活性化に資する企業など、新たな産業の立地を誘導していく方向性を、県の整備でも明確に示されるよう調整を行っている。

安全への配慮 旧三崎高校校舎等の解体工事期間は、観光シーズンに当たっている。土曜日や祝日に作業を行うこともあるようだが、工事車両の出入りで交通渋滞に拍車をかけないよう、また、登下校時に事故等が起らないような配慮はしているのか。

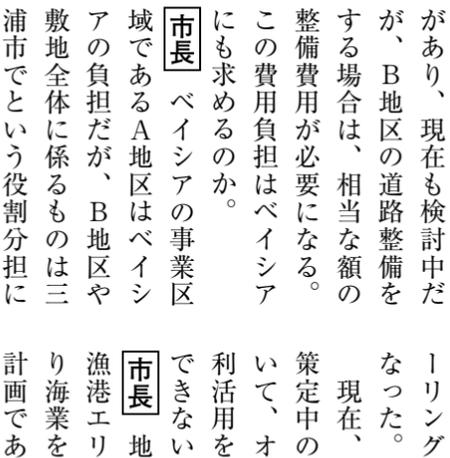
市長 二町谷地区については、水産関連以外の業種への拡大が必要だと考えるが、どのような取り組みを行っているのか。



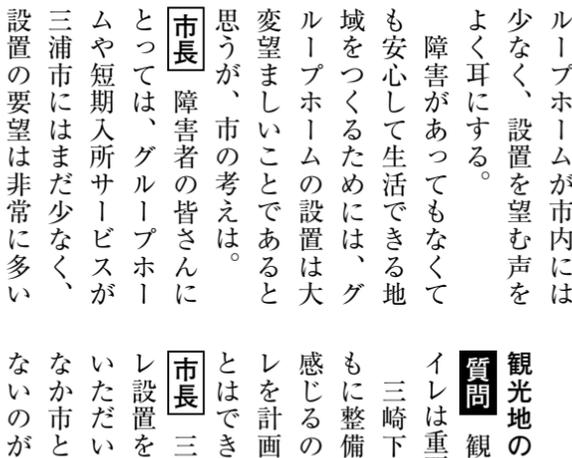
解体中の三崎高校



清掃事業所



三高周辺の道路



休日の三崎下町

※整備保……都市計画法に基づく「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」

小学校の適正規模・配置

マラソン、子供たちの声
みうら市政会 神田 眞弓

質問 先日開かれた総合教育会議の席上で、小学校の適正規模と配置の検討が議題として取り上げられた。
新年度は、適正配置についてどのように進めていくのか。

教育長 総合教育会議では、①学区の再編成を含めた小学校の統合、②地域のコミュニティの核としての存続、③小中一貫教育の三つの方針を示している。
新年度は、まず学校、

質問 三浦国際市民マラソンには、首都圏を中心に多くのランナーが参加している。
この時期は三浦海岸桜まつりが開催されているが、観光客を効率的に呼び込む観点から、マラソンの開催時期をずらしてもいいのではないかと見があったのか。

市長 市長は、市内各中学校吹奏楽部の生徒とトーク＆トークを行ったが、どのような意見があったのか。
今後、子供たちの意見や夢、三浦に対する思いを聞く機会をぜひ設けてほしい。
市長 空き家を貸し別荘にすることや駅前に大型の商業施設を誘致することなど、具体的な提案をいただいた。
今後、子供たちの貴重な意見を聞く機会を設けていきたい。



三浦海岸の河津桜

総合事業開始に向けて

城山地区の土地利用、観光振興
日本共産党 小林 直樹
※は欄外に説明を記載

質問 要支援一・二の方のホームヘルプサービスとデイサービスについては、介護保険給付の対象から外され、総合事業に移行することになる。
三浦市では平成二十九年から総合事業が開始されるが、現在どのような準備をしているのか。

保健福祉部長 現在は、先行して総合事業を開始した他市町村の情報収集や、本市で実施するサービス内容の検討を行っている。

質問 城山地区の市有地について、施政方針では、民間事業者へのアンケートとヒアリングを実施することが述べられた。昨年の施政方針では、経済的機能の導入を目指した活用方針を策定するとしていたが、策定はされたのか。

市長 平成二十七年当初、城山地区の利用に関

する基本的な考えを示す利用方針を策定したいと申ししたが、実現性のある方針を策定するために、進め方を再考した。
現在は、民間事業者にアンケートとヒアリングを行う事業化可能性調査を行っており、この結果を踏まえて利用方針案を策定し、市民アンケートを実施したい。

質問 三浦海岸駅は桜まつりで非常ににぎわっており、三崎口駅と同様に観光案内所を設置することが必要だと思われる。

質問 三浦海岸駅は桜まつりで非常ににぎわっており、三崎口駅と同様に観光案内所を設置することが必要だと思われる。



三浦海岸駅前

三崎漁港の振興

地方創生、市立病院
みうら市政会 草間 道治
※は欄外に説明を記載

質問 現在、三浦市では三崎漁港の高度衛生管理の取り組みが進められている。
この中で今後行われる既存市場の改修設計については、どのような状況をお聞きしたい。

水産担当部長 平成二十八年度から低温卸売場の工事と並行して改修設計に着手する予定であり、現在は、具体的な規模や構造等を検討している。
利用者の意向を聞きながら、完成後に関係者が

質問 県が策定する(仮称)三浦半島魅力最大化プロジェクトは、三浦半島らしさにこだわった地域活性化策を講じて人口減少に歯どめをかけることを目的としている。
この取り組み内容をお聞きしたい。

経済部長 三浦半島全体を一つの広域的な観光圏と捉え、相乗効果が発揮されるような取り組みを行うものと理解している。
具体的には、海や食、その他の地域の魅力を磨き、これら観光資源をつなぐ仕組みづくりに取り組むものである。
市立病院の役割は
質問 二〇二五年問題を前に、これまでの病院完結型の医療から地域完結型の医療への移行などが掲げられている。
県が二十八年度中に策定する地域医療構想は、どのような構想で、市立病院への影響はあるのか。



三崎魚市場

可決した意見書(概要)

軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知及び予防並びに相談窓口等の設置を求める意見書

誰もが日常の活動中に受傷する可能性がある脳しんとうは、軽度の外傷性脳損傷であり、通常は生命を脅かすことはないが、治療を必要とする重篤な症状を引き起こす可能性がある。

これまで、文部科学省から「スポーツによる脳損傷を予防するための提言」などが出されているが、教育現場や家庭では正確な認識と理解が進まず、対応が後手に回り、うつ状態に陥るケースや、罹患年齢が低年齢の場合は発達障害とみなされ見過ごされるケースがある。また、事故の初動調査がおくれ、介護・医療・補償問題が後手に回る状況も生じている。

よって、国においては、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く求める。

- 1 教師、保健師、スポーツコーチ、救急救命士及び救急隊員の〈PocketScat 2〉(脳しんとう評価ツール) 携帯と、軽度外傷性脳損傷の発症が推測される事案が発生した場合の客観的な観察及び家庭への報告を義務づけること。
- 2 脳しんとうが疑われる場合は、直ちに脳神経外科医の診断を受け、神経学的検査も受診することを義務づけるとともに、〈Scat 3 (12歳以下の場合はChildScat 3)〉を実施し、対応できる医療連携体制の構築を進めること。
- 3 各自治体の医療相談窓口等に脳しんとうについて相談対応できる職員を配置するとともに、脳しんとうに関する啓発、周知、予防を図ること。
- 4 保育園・幼稚園及び学校内で重篤な事案が発生した場合は、第三者調査機関を設置し、迅速に事故調査及び情報開示を行うこと。

(提出先) 内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣



※総合事業……介護予防・日常生活支援総合事業の略

※2025年問題……団塊の世代が2025年ごろまでに後期高齢者(75歳以上)に達することで、介護、医療等の社会保障費の急増が懸念される問題

本会議における討論

議案第23号 平成28年度三浦市一般会計予算

反対討論 日本共産党 小林直樹

現在、市では定年退職者の補充をしていないため、二十八年度の職員数は定数より二百十五名少なく、生活保護のケースワーカーは法律で定めた標準を大幅に超えた世帯数を受け持っている。実態に合わせた職員採用計画の作成と、適切な職員採用を求める。

就学援助制度の支給額は、学用品費、校外活動費等が国基準の二分の一であり、不十分な援助制度になっている。支給額を国基準に戻し、全ての子供たちが安心して教育を受けられるようにすることを求める。

三浦市の地域経済と市民生活は大変な状態が続いている。無駄をなくし、公正で民主的な市民本位の行財政運営を行い、市民生活と営業を守ることを求める。

賛成討論 みうら市政会 神田眞弓

二十八年度予算編成に当たっては、将来の財政負担を見据えつつ、市民の皆様が極力負担をかけないように努力している。

また、少ない財源の中でも、市長の最重要政策の一つである小児医療費助成を小学校六年生まで引き上げ、幼稚園就園奨励費補助事業や妊婦健康診査事業など、子育て支援を強化することができた。

本市の最重要課題である二町谷埋立地への企業誘致、売却の実現に向けては、今までの覚悟で取り組み、なし遂げていただきたい。

予算審査特別委員会での審査内容を十分に精査し、市長を初め、職員が一丸となって予算執行に邁進することを期待する。

賛成討論 公明党 藤田昇

大変厳しい財政状況の中での予算編成だが、身の丈に合った財政規模と、それに見合った事業など全体の見直しに取り組み、また財源対策検討委員会による取り組みでは二億九千六百万円の増収・削減効果額があった。

また、国の地方創生加速化交付金を活用し、二十七年度補正予算と二十八年度当初予算で一体的に予算編成を行い、経済活性化に寄与できる三事業に取り組みことは、大変に評価できる。

二町谷埋立地への企業誘致を促進するための地域再生計画の策定を初め、三崎漁港の高度衛生管理及び六次経済化の推進等、課題が山積しているが、市長と職員が一丸となり、市民の安全・安心と生活向上が図られる市政運営を期待する。

賛成討論 自由民主党 出口正雄

二十八年度予算編成に当たっては、財源対策検討委員会での新たな歳入策や補助金の見直し、事業の廃止等に取り組み、増収・削減効果を上げている。

また、ふるさと納税制度の活性化や税外未収債権の徴収強化、人件費の削減など、それぞれ歳入増加、歳出削減に取り組んでいる。

しかし、新たな財源を捻出するためには、事業のあり方についての根本的な見直しが必要であり、財政健全化、経済活性化という視点では、二町谷への企業誘致、城山地区の利活用、(仮称)市民交流拠点整備事業は最重要課題である。

課題は山積しているが、市長と職員が一丸となり、市民生活の向上が図れる市政運営をすることを期待する。

社会福祉事業等に関する特別委員会

三月九日の本会議において「社会福祉事業等に関する特別委員会」を設置しました。本委員会は、これまで議会の中で話題とされることのあった、三浦市行政と社会福祉事業を行う民間組織(三浦市社会福祉協議会)とのかわりに関することに加え、三浦市社会福祉協議会から三浦市議会に提出された文書について審査・調査を行うことを目的としています。

三月二十三日に一回目の委員会を開き、委員会での審査を行う事項と提出を求める資料について決定しました。

社会福祉事業等に関する特別委員会

- 委員長 神田眞弓
- 副委員長 石橋むつみ
- 委員 木村謙蔵
- 出口正雄
- 小林直樹
- 藤田昇
- 出口眞琴
- 草間道治

会議録の閲覧について

三浦市議会の会議録は、次の場所でごらんになれます。

- 市民協働課 市政情報コーナー(市役所第二分館)……本会議録、委員会記録
- 三浦市図書館(市役所第二分館、南下浦・初声市民センター)……本会議録
- 三浦市議会ホームページ 会議録検索システム……本会議録、委員会記録



ホームページのご案内 ~三浦市議会の情報はここから~

会議日程のお知らせ



議会インターネット中継



三浦市議会のホームページでは、会議の日程や議案の審議結果、提出した意見書、会議録、議会インターネット中継など、議会に関する情報がごらんになれます。



三浦市議会トップページ

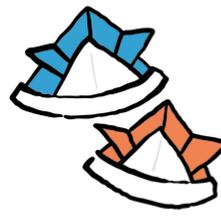
議会を傍聴しませんか

平成28年第2回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
6 月 3 日	金	招集告示
7 日	火	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
10日	金	本会議（一般質問）
13日	月	本会議（一般質問）
14日	火	本会議（一般質問）
15日	水	総務経済常任委員会
16日	木	都市厚生常任委員会
20日	月	社会福祉事業等に関する特別委員会
22日	水	本会議（委員長報告・採決）

※請願・陳情の提出期限は6月6日（月）です。

- ◆三浦市議会の本会議及び委員会は公開されていますので、自由に傍聴することができます。
傍聴を希望する方は、市役所本館4階の受付で、住所、氏名、年齢を記入してください。
- ◆お問い合わせは議会事務局へ
電話 046-882-1111 内線462・463



三 富 和 夫 氏

固定資産評価
審査委員会委員

定例会閉会後に任期満了を迎える委員を選任するための議案が市長から提出され、原案のとおり同意することに決しました。

人事

本会議のインターネット中継



※Ustream社の規定により、録画映像は配信から30日を経過すると自動で削除されますので、ご注意ください。

◇三浦市議会では、議会広報の充実を目指し、その一環として本会議の映像をインターネット配信しています。
◇三浦市議会「議会インターネット中継」のページからUstream社の映像配信サービスの視聴画面に進み、ライブ中継または録画映像をごらんください。

本会議での議案等の審議結果

〈全員賛成で議決した議案〉

【議案】

- 第1号 三浦市行政不服審査法施行条例
- 第2号 三浦市職員の退職管理に関する条例
- 第3号 三浦市職員定数条例の一部を改正する条例
- 第4号 三浦市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 第5号 三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例
- 第6号 三浦市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例
- 第7号 三浦市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 第9号 三浦市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
- 第10号 三浦市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
- 第11号 三浦市市税条例の一部を改正する条例
- 第13号 三浦市企業等立地促進条例の一部を改正する条例
- 第14号 三浦市水道事業給水条例の一部を改正する条例
- 第15号 三浦市火災予防条例の一部を改正する条例
- 第16号 平成27年度三浦市一般会計補正予算（第4号）
- 第17号 平成27年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

- 第18号 平成27年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）
- 第19号 平成27年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 第20号 平成27年度三浦市市場事業特別会計補正予算（第2号）
- 第21号 平成27年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 第22号 平成27年度三浦市水道事業会計補正予算（第3号）
- 第26号 平成28年度三浦市介護保険事業特別会計予算
- 第27号 平成28年度三浦市市場事業特別会計予算
- 第28号 平成28年度三浦市公共下水道事業特別会計予算
- 第30号 平成28年度三浦市病院事業会計予算
- 第31号 平成28年度三浦市水道事業会計予算
- 第32号 財産の無償譲渡について
- 第33号 工事請負契約の締結について
- 第34号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

【意見書案】

- 第1号 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知及び予防並びに相談窓口等の設置を求める意見書

〈賛否が分かれた議案〉 ○賛成 ●反対

番 号	件 名	審議結果	みうら市政会					日本共産党			公明党	自由民主党	無所属		
			岩野 匡史	長島満理子	神田 真弓	出口 真琴	草間 道治	布川 照美	石橋むつみ	小林 直樹	藤田 昇	出口 正雄	下田 剛	木村 謙蔵	寺田 一樹
【議案】 第8号	三浦市証人等の実費弁償に関する条例等の一部を改正する等の条例	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第12号	三浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第23号	平成28年度三浦市一般会計予算	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	○
第24号	平成28年度三浦市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	※1	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第25号	平成28年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第29号	平成28年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計予算	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○

※1 議長は表決に加わらない